

(「一寸先は光です」)

校長だより

平成29年6月26日(月)

第8号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

期末考査前、もう一つの「情熱発電機」ただ今より作動スイッチON!します。

28日(水)よりいよいよ期末考査が始まります。本校の追求する文武両道とはいかなることをいうのでしょうか。私は、文武両道の「文」の目的は「知」を高めること、「武」の目的は、精神と肉体を鍛えることにあります。部活動等により精神と肉体が鍛えられ、人格が磨かれるとともに「高い志」に向かう日々の積み重ね(努力)が、可能になると思うのです。本校の文武両道は、毎朝、学校に送り出し、生徒の成長を下支えして下さる保護者と、師弟同行により「学ぶ喜び」「己を磨くことの大切さ」を教えてくれる先生方、そして全ての生徒によって追求されていくものと信じています。

◆大会・コンクール等結果

- ・俳句甲子園で那覇西団体優勝!!正岡子規・夏目漱石生誕150周年祈念賞に寺瀬航平(2-7)「陽炎を追う子ら阻む基地フェンス」に見事選ばれました。8月の全国大会出場決定です。快挙です!!
- ・29年度グローバル・リーグ-育成海外短期留学研修事業に玉城海音(2-8)さんが合格しました。留学先は、110-ストゥ、恐竜の発掘で世界でも有名なミナソ州です。海音さん、世界に羽ばたいて下さい!!
- ・23日(金)高校野球 VS豊見城高校 於コナテ球場 0-10(5回コナテ)残念ながら一回戦敗退でした。しかし、日々の黙々と打ち込む練習姿勢、挨拶は「チーム那覇西」の^{かなめ}要的存在です。球場に足を運んでいただいた保護者、多くの先生方、仲間達、OB等「チーム那覇西」の真っ赤な充血した目が全てを物語っていました。「負けたら終わりではない。諦めたら全ては終わるのです」
- ・陸上競技の九州大会で本校は昨年の13種目を上回る15種目で全国大会の出場権獲得しました。ウ!

○校内外の小さな変化・成果に気がついたでしょうか?「チーム那覇西」は今も躍動しています!

- ・「6・23の学びから未来を考える」をテーマに3-6ホムルーム教室で玉城江梨子記者・東江亜希子記者(共に琉球新報)を講師に招いて、「違いを認め合う社会を築くためには」「元知事が求めていた沖縄の姿とは」等、ワークブックを活用した中身の濃い授業でした。上原静香先生、企画等お疲れ様でした!
- ・試験休みの先週、女子バドミントン部がゼミハウスで早朝6時より「早朝学習」に励んでいました。合掌!
- ・図書館便り2号、美化だより7号、保健便り、生徒指導便り発行しています!要熟読ですよ。

◇◆◇◆◇◆◇ 高校総体終了!これまで積み上げてきたものは何? ◇◆◇◆◇◆◇

「今昔物語」昭和62年海邦国体前の中央J-1研修より

昭和62年に本県で開催された海邦国体は本土復帰15周年を記念して開催された国体でした。本県のそれまでの競技力は全競技で本土とかなり格差があったことから、指導者の資質向上を目的にほとんどの種目で中央から著名な一線級の指導者を招聘し、講習会が開催されました。それと同時に本土との交流事業(強化合宿見学等)も頻繁に実施されました。本県のバドミントンの指導者が全国でも屈指の九州の名門高校に見学に行ったところ、初日は某高校の部員達が「風船」を床に落とさないよう何時間も「ワッ」と息を吹きかけていたとのこと。その翌日は、どんぶりに生米を山盛り入れ、もう一つの空どんぶりに「一つ二つ・・・」と数えながら入れていました。その繰り返しでした。まさに、「あっと驚くため五郎」状態だったそうです。いずれも心肺機能の強化と集中力を高めるためのトレーニングの一環でした。よほど信頼関係が確立されていなければできない練習だとその指導者は驚愕させられたとのこと。九州そして全国大会に向けてこれから勝負をかけることになる皆さん、練習が^{ハード}になるにつれ、指導者の練習メニューに疑問が生じ、指導者との間に溝が深まっていくことが予想されますが、校長の話の思い出してくれるとありがたいです!